

ふくしまの
今
が分かる
新聞

vol. 5

2013年1月31日
発行：福島県避難者支援課 ☎024-523-4157

福島県が発行する「ふくしまの今が分かる新聞」では、県内に居住している皆様、福島県内外に避難されている皆様、そして被災者・避難者支援に携わる多くの皆様へ、避難者支援の状況や福島の復興への動きなど「今ふくしまが何を行っているか」が分かる情報をお届けします。

大河ドラマ 「八重の桜」 放送開始!



福島・会津を舞台とした大河ドラマ「八重の桜」の放送が始まりました。主人公である「新島八重」は、会津で生まれ育ち、「幕末のジャンヌダルク」や「ハンサムウーマン」等と称され、困難の中でも諦めず、福島・会津の誇りを生涯守り続けた女性です。

この大河ドラマの放送開始を受け、1月12日に出演者の衣装やドラマのセットの展示で、ドラマの世界を再現した「ハンサムウーマン八重と会津博 大河ドラマ館」が、会津若松市の県立博物館隣にオープンし、開館9日目の1月20日には入場者が1万人に達しました。

依然厳しい状況に置かれている福島県ですが、復興に向けて元気にがんばっています。

☎024-521-7308



◎会津若松市「八重の桜」プロジェクト協議会 ※画像はイメージです

ハンサムウーマン八重と会津博 大河ドラマ館

場所 福島県会津若松市城東町 2-3
開催期間 平成 25 年 1 月 12 日(土) ~ 平成 26 年 1 月 14 日(火)
開館時間 8時30分~17時(最終入場16時30分)
チケット料金 当日大人500円、小人200円

八重のふるさと 福島県

検索

大河ドラマ「八重の桜」の世界を体験!

「ハンサムウーマン八重と会津博 大河ドラマ館」では、館内にドラマのセットを再現、撮影で使用した衣装や小道具などの展示、登場人物紹介やドラマの時代背景などをパネルで解説、ミニシアターでは出演者からのメッセージやメイキング映像、さらに最新技術を駆使したインタラクティブなアトラクションなど、盛りだくさんのコンテンツで大河ドラマの世界を体験していただけます。

各市町村の復旧・復興に 対する取り組み

南相馬市

警戒区域及び計画的避難区域の見直しにより、ほぼ市全域において立ち入りが可能となったことから、復興計画及び除染計画に基づき、一層の復旧・復興に取り組みしており、道路、水道、下水道などの生活インフラについては、平成24年度中に応急復旧を終える予定です。

また、避難指示解除準備区域内の企業では、製造業の事業活動が認められたことから、操業を再開した企業や、再開に向けた建物の修繕や製造機器の点検等を進めている企業もあります。

今後継続して避難者の方々の帰還に向け、生活環境の整備、インフラ復旧、除染、医療・福祉・教育の確保などの課題を解決していきます。

広野町

広野町では、東日本大震災以降、応急的なインフラ復旧作業をすぐに開始していましたが、昨年3月に自主避難指示を解除して以降順次、住民の帰還に向けた本格的な環境整備を進めています。生活圏を優先して除染を進め、医療機関や社会福祉施設も再開し始めました。

昨年8月には、小中学校、幼稚園、保育所、児童館を再開し、現在約100名強の子どもたちが広野町に通学しています。

11月には、平成25年産米の作付けを決定し、農業の再開に向けても大きな一歩を踏み出しています。

平成25年は、昨年以上に着実かつ迅速な取り組みをすすめ、町の復興のみならず、双葉郡の復興をリードしていきます。

川内村

①定住促進のための住宅の確保

民間住宅管理会社を活用し、川内村では初めてとなる一般アパートとして2棟14世帯対応（1棟8世帯、1棟6世帯）を設置します。部屋の大き

さは、1階がLDKタイプで2階が2LDKタイプのもので、单身世帯や家族世帯にも対応が可能となります。

建設場所は、下川内字砂田地区の旧第5区生活改善センター跡地です。設計から工事、さらに入居者管理まで総合的民間管理型のアパートとして設置します。

着工は、昨年8月31日で、竣工は、本年3月31日までの予定です。入居者の募集は、村から委託を受けた管理会社において2月より実施し、4月から供用が開始されます。

今後必要に応じて各地区へのアパートの設置を検討していきます。



②川内村空き家バンクを設置

川内村では、東日本大震災からの復興を進める上で大変重要な課題となっている住宅問題を解決するため、「川内村空き家バンク」を設置します。

空き家バンクは、空き家を「貸したい方」「売りたい方」の情報を収集し、「借りたい方」「買いたい方」に情報を提供する仕組みです。住宅に関する情報がありましたらご連絡ください。

☎0240-381-2112

災害復旧工事進む

東日本大震災等により被災した土木施設の復旧は、2,516箇所のうち、1,166箇所（平成25年1月4日時点）で復旧工事が完了しています。残る箇所についても一日も早い復旧に努めています。

県道原町海老相馬線、南相馬市 鹿島区北海老の復旧について

海岸沿いを走る県道原町海老相馬線は津波により被害を受けましたが、復旧工事により平成24年12月21日に通行止めが解除されました。

津波により被災した海岸の本格的な復旧工事が始まっています。

1月23日には新地町木崎地区、25日には相馬市大浜・古磯部地区、31日には南相馬市の渋佐菅浜地区で復旧工事の着工式が行われ



海岸復旧着工式



新地町木崎海岸（平成25年1月）

いわき石川線の復旧について

上釜戸工区は、地滑りにより段差・溝が発生し、道路側溝が2〜3m移動、道路中央が5m隆起するなど被害が大きかったものの、震災前の69%（12月末現在）程度まで復旧しています。

また、才鉢工区は復旧工事の進捗率は87%（12月末現在）で、土砂除去や斜面の工事も進み、昨年12月14日には再開通式が行われました。



県道いわき石川線才鉢地区（平成24年10月末）
平成23年9月20日に通行止め解除

☎024-521-7473

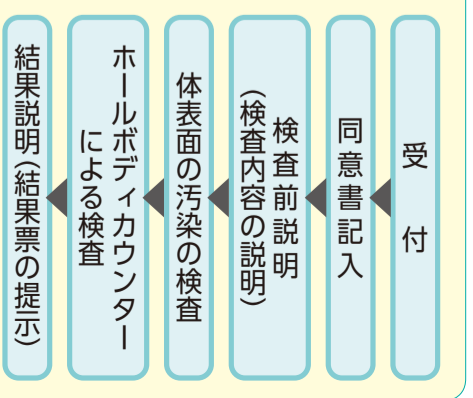
新潟県 ホールボディカウンターによる 内部被ばく検査を実施

福島県では、新潟県へ避難されている方を対象にホールボディカウンターによる内部被ばく検査を実施しており、電話による検査申込みをお受けしております。なお、検査にあたっては、検査データを個人情報に配慮した上で公表する場合があります。

検査実施している県民健康管理調査のデータとして福島県立医科大学に提供することに同意をお願いしています。検査を希望される方は、次の内容を確認のうえ、電話によりお申込みください。

- 対象者** 東京電力福島第一原子力発電所での事故発生時に福島県内に居住し、現在、新潟県内に避難されている方でこれまで検査を受けたことがない方（検査当日4歳以上の方）
- 検査場所** 新潟県放射線検査室
新潟市中央区川岸町3丁目17-38
- 検査人数** 1日あたり12名まで
- 検査日** 毎週火曜日（平成25年2月〜3月）
- ※検査日の前週木曜日まで申込み可能**
- 検査時間** 受付から検査結果説明まで30分
- 検査費用** 無料 ※交通費各自負担
- 申込先** 福島県地域医療課
☎024-521-7221
- 受付時間** 土・日・祝日を除く
9時から17時まで

《検査の流れ》



※青森県弘前大学でも昨年12月から青森県へ避難されている方を対象として同様に検査申込みを受け付けております。詳細につきましては、地域医療課までお問い合わせください。

